

補助事業番号：25-1-010

補助事業名：平成25年度自転車競技の普及促進

補助事業者名：公益財団法人日本自転車競技連盟

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国民の心身の健全な発達に寄与するとともに、豊かな人間性を涵養することを目的とし、かつ、自転車競技の普及促進と競技登録者数の増加を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 国内競技大会（全国大会）の開催運営

当連盟は、日本における自転車競技の統轄団体として、国内の主要な自転車競技大会の多くを主催している。特に、「全日本選手権」と銘打った大会については、全て当連盟の主催である必要があり、当連盟の公認なく、全日本選手権の名称を用いた大会があったとしても、公式な大会とはならず、記録も公式記録として扱われない。また、UCIの公式レースについても当連盟が取り扱い窓口である。

各種自転車競技大会を開催することによって、自転車競技に参加する機会を提供することは、自転車競技の普及振興に寄与するものであるほか、大会に参加しない多数の者にとっても、大会を観戦することによって自転車競技に対する興味・関心を深めることとなり、自転車競技の普及振興に資するものである。

また、当連盟に加盟する地方車連等、他の組織が主催する自転車競技大会の開催を支援し、役員の派遣による大会運営の協力も行っている。さらに当連盟が公式な大会として認めるこれらの各大会において、選手が日本記録もしくは日本国際記録または世界記録を樹立した際、日本記録及び日本国際記録については当連盟がこれを公式記録として認定し、世界記録についてはUCIに公認を申請する。

また、以上の各競技を実施する前提となる競技規則を制定し、これを競技規則集として公表している。

本事業における活動は以下のとおりである。

ア. 全日本自転車競技選手権大会トラックレース

(平成25年7月27日～28日、静岡／伊豆ベロドローム、男子91名、女子18名)



イ. 第 82 回全日本自転車競技選手権大会ロードレース

(平成 25 年 6 月 22 日～23 日、大分／大分、豊後大野、男子 344 名、女子 85 名)



※ 全日本ロードダイジェスト動画

ウ. 2013 年全日本選手権個人タイム・トライアル・ロードレース

(平成 25 年 6 月 9 日、秋田／大湯、男子 75 名、女子 22 名、パラ 20 名)



※ リザルト

エ. 第 44 回全日本室内自転車競技選手権大会

(平成 25 年 12 月 14 日～15 日、第 44 回全日本室内自転車競技選手権大会、男子 56 名、女子 6 名)



速報

- ・ 2013 年 12 月 14 日 ・ サイクルフィギュア男子
- ・ 常勝 木下・松田組 敗れる

オ. 第24回全日本マウンテンバイク選手権大会

(平成25年7月19日～21日、静岡／日本CSC、男子202名、女子21名)



速報

- ・ [XC 男子ジュニア](#)
- ・ [XC 男子マスター](#)
- ・ [XC 男子U23](#)
- ・ [XC 男子エリート](#)
- ・ [DH 女子予選](#)
- ・ [DH 男子エリート予選](#)
- ・ [DH 男子ジュニア](#)
- ・ [DH 男子マスター](#)
- ・ [DH 女子決勝](#)
- ・ [DH 男子エリート決勝](#)

リザルト

- ・ [7月20日](#)
- ・ [7月21日](#)

カ. 第18回全日本シクロクロス選手権大会

(平成25年12月8日、滋賀／マキノ高原、男子104名、女子15名)



速報

- ・ [2013年12月8日](#)
- ・ [2013年12月8日](#)
- ・ [2013年12月8日](#)
- ・ [全リザルト](#)

キ. 第30回BMX全日本選手権大会

(平成25年7月6日～7日、静岡／日本CSC、男子111名、女子32名)



※ [BMX全日本選手権は長迫吉拓が3連覇](#)

ク. 2013年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会

(平成25年8月17日～18日、静岡／伊豆ベロドローム、男子113名、女子19名)

2013全日本オムニウム選手権大会

(日程・場所同上 男子9名、女子3名)

ケ. 全国都道府県対抗自転車競技大会

(平成25年8月25日～27日、長崎／壱岐、佐世保、男子135名、女子35名)

2. 予想される事業実施効果

(1) 国内競技大会（全国大会）の開催運営

本事業の実施により、登録者の練習成果の最高峰の場として、かつ予め定められた開催要項に基づき公正かつ安全な各種目の全日本選手権等を提供するとともに、海外派遣の選手選考の一助とするべく効率的な開催をすることにより、自転車競技の普及に寄与する。

特に全日本選手権は国内最高峰の大会であり、継続して開催することにより、自転車競技者をはじめ競技を志す方の目標となる大会である。

また、国内で国際競技大会を開催することにより、海外からのトップアスリートを呼び、高度かつ円熟したパフォーマンスを披露することにより、連盟登録者に対する刺激に加え、観客等一般の人達に対し競技の魅力を全国に発信することにより、自転車競技の普及促進を図る。

3. 本事業により作成した印刷物

- ・ 第82回全日本自転車競技選手権大会トラックレース

等

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人日本自転車競技連盟

(コウエキザイダンホウジンニホンジテンシヤキョウギレンメイ)

住所：141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1

代表者名：会長 石崎聖子（イシザキセイコ）

担当部署：総務部

担当者名：総務部長 菊田 聡

電話番号：03-6277-2690

FAX番号：03-6277-2691

URL：<http://jcf.or.jp/>